

JENESYS2015（招へいプログラム） （対象国：カンボジア, テーマ：社会（起業家交流）/ 技術（科学技術交流））の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、カンボジアより起業・科学技術に関心を有する高校生・大学生・大学院生 38 名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、1 月 26 日から 2 月 2 日までの 7 泊 8 日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

カンボジア 38 名

3. 訪問地

東京都（全員）、岐阜県（19 名）、兵庫県（19 名）

4. 日程

1 月 26 日（火） 成田国際空港より入国、来日時オリエンテーション

1 月 27 日（水） 【起業家支援活動視察】ちよだプラットフォームスクエア（社会グループ）
【最先端技術視察】TEPIA 先端技術館（技術グループ）
【日本理解講義・基調講演】

1 月 28 日（木）～1 月 31 日（日）

2 つのグループに分かれ、各地方を訪問

1. グループ A（社会）：岐阜県

【地方自治体講義】岐阜県庁

【起業家支援講義】NPO “G-net” による講義

【学校交流】名城大学都市情報学部

【ホームステイ】

【ワークショップ】報告会準備

2. グループ B（技術）：兵庫県

【防災技術視察】人と防災未来センター

【学校交流】神戸市立工業高等専門学校

【歴史文化視察】湊川神社

【ポップカルチャー視察】三宮センター街

【ホームステイ】

【ワークショップ】報告会準備

2 月 1 日（月） 地方プログラム終了後、東京へ移動

報告会（訪日成果・帰国後活動計画発表）

2 月 2 日（火） 成田国際空港より出国

5. JENESYS2015プログラム記録写真 カンボジア（社会グループ）の記録



1/28 【地方自治体講義】岐阜県庁（岐阜市）



1/28 【起業家支援】NPO “G-net” による講義（岐阜市）



1/29 【学校交流】名城大学都市情報学部（可児市）



1/30 ホームステイ（岐阜市）



1/31 ホームステイ歓送会（美濃加茂市）



2/1 報告会（東京都）

カンボジア（技術グループ）の記録



1/28 【防災技術視察】人と防災未来センター（神戸市）



1/28 【歴史文化視察】湊川神社（神戸市）



1/29 【学校交流】神戸市立工業高等専門学校（神戸市）



1/30 ホームステイ（神戸市）



1/31 ホームステイ歓送会（神戸市）



1/31 ワークショップ（神戸市）

6. 参加者の感想

◆ カンボジア学生（社会グループ）

今回の訪日で様々なことを感じましたが、ここでは4つに絞って記します。まず、日本の交通システムです。道路や橋はとても頑丈で安全性が保たれているだけでなく、一定区間ごとにSOS電話が設置されていたり、都心部で事故が多い道路の場所が赤くなっていたり、非常に良く運営されています。次に、新幹線についてです。スピードが速いことによって、移動時間が短縮されるため、職場が遠くても通うことができ、職場近くに自宅とは別に住む場所を借りる必要がなくなります。こうした利点があるからこそ、新幹線が開発されたのだと思うし、貧困削減や交通事故の減少にもつながっていると思います。3つ目に、千代田プラットフォームのような地域行政と民間のパートナーシップについてです。そうしたパートナーシップによって一部を民間に任せたり、起業家を支援したりして、お互いが地域の開発パートナーとして責任持って取り組むのだと思います。最後に、ホームステイでは、日本の食事や一般の生活を体験でき、忘れられない時間となりました。JENESYS2015での訪日は、ずっと忘れることのない素晴らしい思い出になりました。カンボジアの発展のために、日本で得た知識や経験をできる限りの方法で発信していきたいと思っています。

◆ カンボジア 学生（技術グループ）

成田空港から降りた時、最も印象に残っているのは整備されたインフラやゴミ・不法駐車のない広くてきれいな街でした。そして、通行車両がなくて歩行者や自動車を運転している人たちはきちんと交通ルールを守って、信号を待っていました。TEPIA先端技術館では未来に向けての様々なものを製造した素晴らしい日本の先端技術に感銘を受けました。例えば、微生物を活用して栄養食を作りだしたことや、日本で一番高い建物であるスカイツリーの建設などです。また1995年に神戸市で起こった地震の様子や地震の後、街の再建のための人々の団結についても学びました。地震が多い日本では被害を防止するためにどんどん新しい技術を開発しています。これは困難に対応するための日本人の忍耐力や創意工夫だと思います。もう一つの重要な知識は日本国民の個人個人の秩序や責任感を育成することです。これは日本を発展させた大切な要因だと思います。帰国後、得た知識を発信するだけでなく私自身もカンボジアがもっと発展できるようにより良い秩序や責任を持った国民になるように努力していきたいと思っています。

◆ カンボジア 学生（技術グループ）

来日して日本がとても清潔な国で、人々も規則をしっかり守っていることが分かりました。日本は技術、経済やインフラが非常に発展していますが、伝統を守り続けています。自然災害が多い日本でも発展できたのは日本政府や日本の国民が人材開発、愛国心・忍耐力等の教育に力を入れているからだと思います。阪神・淡路大震災記念・人と防災未来センターでは、1995年の地震発生や防災について多くのものを学びました。震災後の建物の建設は災害を想定して慎重に行っています。そして、震災時の心の支え合いや食事の提供など人々の志がとても素晴らしくて、模範にしたいと思っています。

神戸市立工業高等専門学校では日本の市場や発展に沿った良い教育制度だと思います。学生た

ちが若いうちに実験をしながら多くの技術を習得できるようになると思います。そして、自分が興味を持っている分野を研究したり、製造したりするための最新の機材が整っていて、様々なクラブ活動もあります。カンボジアにもこのような教育環境がほしいです。

最後に、ホームステイプログラムに参加できてとても嬉しかったです。滞在中、ホストファミリーと交流できて良い関係を築くことができました。神戸港、スキーの体験や動物園の見学もできました。ホームステイ中、お寿司の作り方も教わりました。また秩序や互いの助け合い志についてホストファミリーから学び、忘れることがない貴重な体験となりました。

7. 参加者の報告会での報告内容（帰国後の発信計画）／プログラム中の発信内容発信内容

 ផែនការ សកម្មភាពក្រោយពីត្រឡប់ទៅដល់កម្ពុជាវិញ (Action Plan after come back from Japan)	アクションプラン
 Jenesys 2015 - Cambodian Social Entrepreneur Team Community Cambodia 2nd Batch (Social) En	Facebook 発信